

全日本科学技術協会(JAREC) 施策説明会

# *Startup Support Department*

NEDO スタートアップ支援プログラムご案内

---

2026.02.20



00	機構概要	
01	SBIRとは	制度概略
		NEDOの役割
		NEDOにおけるSBIRの歩み
02	制度の位置づけ	他のスタートアップ支援施策との比較
03	制度概要	制度の構成
		各フェーズのゴールと取り組み
		事業ポートフォリオ
		伴走支援の取り組み
04	2026年度 公募情報	公募スケジュール
		2026年度 連結型トピック
		公募要領上のポイント
		採択に向けてのポイント
05	スタートアップ/エコシステム支援施策	NEP・DTSU/GX・大企業調達
		NEDOデスク・大学連携協定・プライベートピッチ・Immersion Program

# NEDO 機構概要

---

## 【エネルギー／環境分野】と【産業技術分野】の二本柱による組織構成

### Mission1

#### ✓ エネルギー・地球環境問題の解決

##### エネルギーシステム分野

- 系統対策技術
- 蓄電池等のエネルギー貯蔵技術
- 水素の製造から貯蔵・輸送利用に関する技術
- 再生可能エネルギー技術 等

##### 省エネルギー・環境分野

- 革新的な省エネルギー技術
- 高効率石炭火力発電技術開発
- 二酸化炭素分離・回収・有効活用・貯留技術
- 国際実証、JCM 等

### Mission2

#### ✓ 産業技術力の強化

##### 産業技術分野

- ロボット・AI技術
- IoT/電子・情報技術
- 材料・ナノテクノロジー
- バイオエコノミー 等

##### 新産業創出・シーズ発掘等分野

- 研究開発型スタートアップの育成
- オープンイノベーションの促進 等

## スタートアップ支援部

統括課

各チーム統括/企画立案

NEPチーム

NEP事業/K-NIC運営

DTSUチーム

DTSU/GX事業

UPPチーム

UPP/GX\_UPP事業

SBIRチーム

SBIR事業

国際コファンドチーム

国際共同研究開発事業

連携・対外発信チーム

海外展開支援/プライベートピッチ/広報

基盤構築チーム

企業DB管理/各種システム構築

人材支援・OIチーム

MPM事業/SSA・JOIC運営/大学協定

キャラバンチーム

地域との連携/案件発掘/NEDOデスク

検査チーム

事業者への経理指導/検査

終了事業フォロー特別班

終了後フォロー(企業化状況/財産処分等)

NEP	ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業
DTSU	ディープテック・スタートアップ支援事業
GX	GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証事業
SBIR	SBIR推進プログラム
UPP	ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業
GXUPP	GX分野のディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業
SSA	研究開発型スタートアップ支援人材育成特別講座
MPM	大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業

# SBIRとは

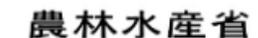
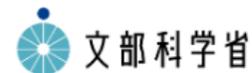
---

名称	SBIR   <b>S</b> mall/ <b>S</b> tartup <b>B</b> usiness <b>I</b> nnovation <b>R</b> esearch
体制	日本版SBIR制度(米国モデルを参考)として内閣府を司令塔に、省庁横断で実施
目的	スタートアップ等による革新的な研究開発とその成果の事業化を支援することで、我が国のイノベーション創出を促進し、様々な社会課題を解決に導くこと
研究開発課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調達ニーズ型: 公共サービスの高度化・効率化等を目的に革新的な技術の政府調達等を目指すもの</li> <li>・ 社会課題型: 重要な政策課題の解決を目的に革新的な技術の社会実装を目指すもの</li> </ul>

## 司令塔



## ニーズ元省庁



### 連結型

BRIDGE予算



アウトカム  
民間投資誘発

アウトプット (KPI)  
Ph.2への移行率  
※関係府省庁事業含む

50%  
以上

アウトプット (KPI)  
事業終了5年以内の実用化率

30%  
以上

### 一気通貫型

DTSU基金



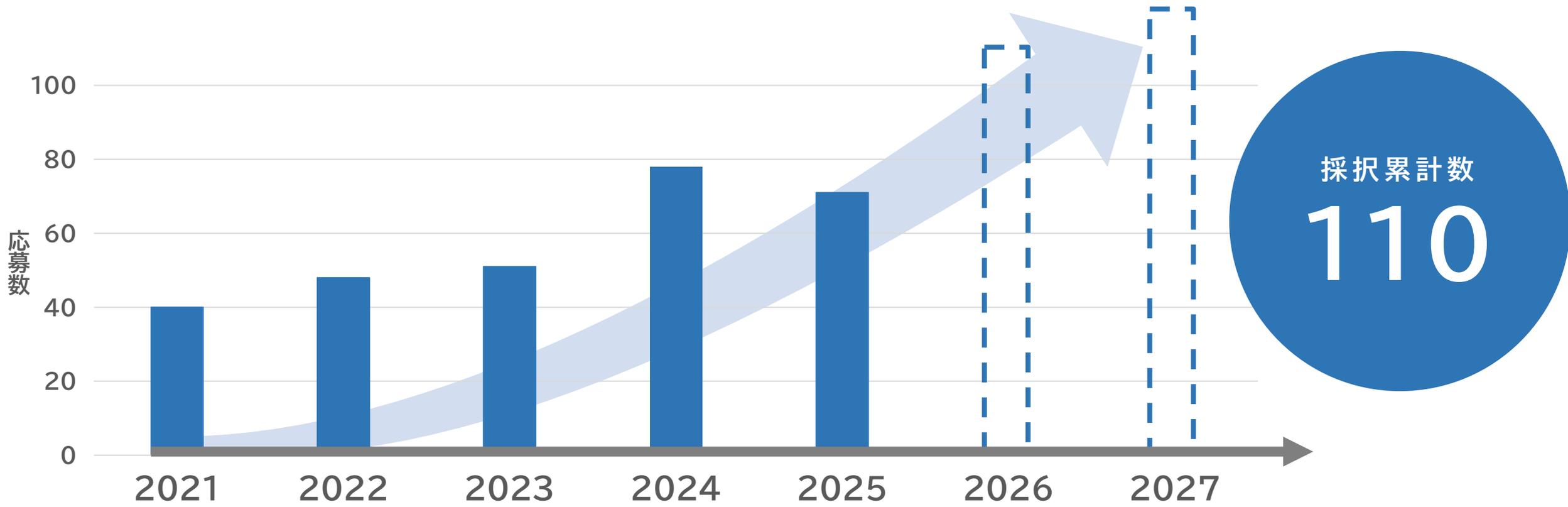
アウトカム  
技術確立・社会実装・エコシステム活性化

アウトプット (KPI)

事業終了5年以内の実用化率

30%  
以上

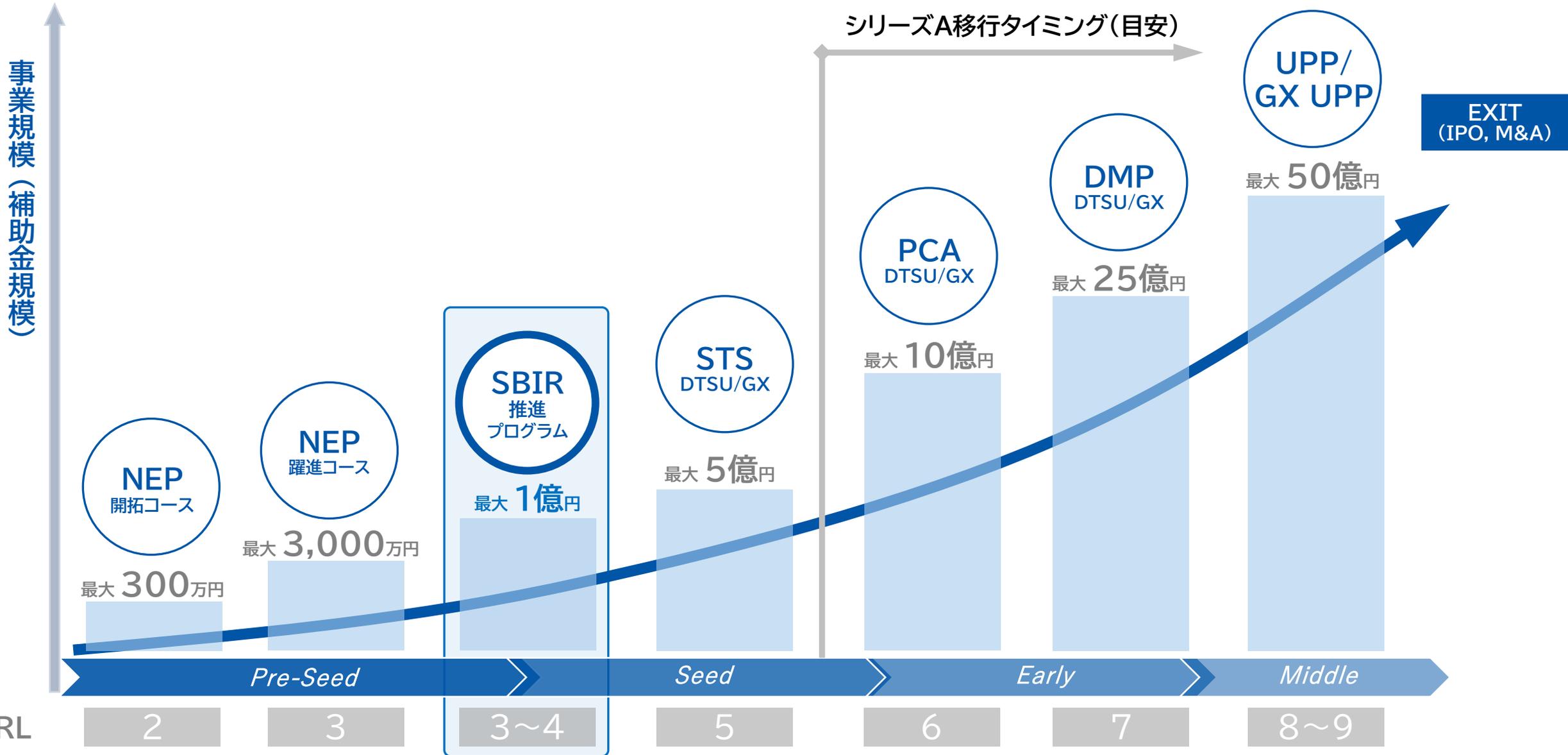
※ 本事業において事業化とは、事業終了後に生産・販売等を開始することにより、継続的に売上げが発生することを指す



# 制度の位置づけ

---

# ■ NEDO SBIR | SBIR制度の位置づけ



# 制度概要

---

## ➤ 制度の構成



フェーズ	補助金額		事業期間
<b>フェーズ1</b>	一気通貫型:	2,000万円 以内 <span>補助率 1/1</span>	原則 <b>1</b> 年以内
	連結型:	1,500万円 以内 <span>補助率 1/1</span>	
<b>フェーズ2</b>	一気通貫型:	1億円 以内 <span>補助率 2/3</span>	原則 <b>2</b> 年以内
	連結型:	5,000万円 以内 <span>補助率 2/3</span>	

## ➤ 各フェーズのゴールと取り組み

### PHASE 1 準備段階



PoC / FS

概念実証  
実現可能性調査



事業計画書

有望な計画の  
策定完了

### PHASE 2 実行段階

※各フェーズの要件を満たすことで、次のステップへ進むことができます



技術解決

技術的課題の  
解決



体制構築

事業化に向けた  
具体的体制



事業化

終了後5年以内の  
実用化達成

GOAL

※ 本事業において事業化とは、事業終了後に生産・販売等を開始することにより、継続的に売上げが発生することを指す

## ➤ 2025年度 研究開発課題一覧

区分	No	ニーズ元	フェーズ1	フェーズ2	分野タグ	研究開発課題
一気通貫型	1	経産省	NEDO	NEDO	# 福祉	高齢者の自立支援や介護者の負担軽減・生産性向上等に資する福祉機器の開発
	2	経産省	NEDO	NEDO	# 宇宙	民間宇宙活動で推進する産業発展及び国際競争力強化に資する技術開発
	3	経産省	NEDO	NEDO	# 製造	マグネシウム合金の固相リサイクル技術の深化
	4	経産省	NEDO	NEDO	# 製造	無人航空機・人工衛星等における安定的な通信確保のための電磁波耐性ソリューションの開発
	5	経産省	NEDO	NEDO	# 防災	避難所の衛生環境整備に関する技術
	6	経産省	-	NEDO	# 製造	製造業・工程内物流における協働モバイルマニピュレータ開発
	7	経産省	-	NEDO	# ロボ	サービスロボットの稼働率・利便性の向上のための開発
連結型	1	総務省	NEDO	総務省	# 通信	Beyond 5Gの実現、同技術を活用したサービスの社会実装・市場展開を見据えた研究開発
	2	厚労省	NEDO	厚労省	# 福祉	多様化する障害像を見据えた自立支援機器の開発
	3	農水省	NEDO	BRAIN	# 農業	食品産業における生産性向上に資するスマート化（自動化）技術の開発
	4	農水省	NEDO	BRAIN	# 林業	林業の安全性向上・労働負担軽減・生産性向上に資する技術の研究開発
	5	農水省	NEDO	BRAIN	# 林業	森林由来の資源を活用した新素材・原料の研究開発（エネルギー利用を除く）
	6	国交省	NEDO	国交省	# 海事	海事分野のDX推進、生産性向上、労働負担軽減、安全・安心の確保等に資する研究開発
	7	国交省	NEDO	国交省	# 海事	海事分野のGX推進、脱炭素社会の実現に資する研究開発
	8	国交省	NEDO	国交省	# 物流	旅客の手荷物のコンテナへの積付の自動化の実現に向けたアルゴリズム開発
	9	環境省	NEDO	環境省	# 環境	CO <sub>2</sub> 吸収・回収・分離・利用（固定）に関する技術開発
	10	環境省	NEDO	環境省	# 環境	AIを活用したClimate Tech開発
	11	内閣府(京都府)	NEDO	BRAIN	# 環境	廃棄による食品ロスの原因になっている未利用農産物等の高付加価値化を可能とする技術開発
	12	内閣府(京都府)	NEDO	環境省	# 環境	複合素材によるプラスチック類や汚染度が高いプラスチック類等を対象としたケミカル・マテリアルリサイクルの手法の技術開発

# ■ NEDO SBIR | SBIR推進プログラム



➤ 事業ポートフォリオ(一部抜粋)

	宇宙・航空・ドローン	医療・福祉	素材・製造・化学	AI・ロボット・IoT	環境・エネルギー 農林水産・海事
スタートアップ	   	   	  	   	   
中小企業	株式会社川邑研究所	 	富士色素株式会社  	—	  

## ➤ 伴走支援の全体像

### メンターの派遣

事業者の技術・事業化課題に即時対応可能なメンター・専門家を派遣



### ピッチイベントの開催

実績アピール/ネットワーキングに資するピッチイベントの機会を提供



### 講座実施

SBIRの出口である民間市場の創出・公共調達の実現のためのノウハウをレクチャー



### マーケット・資金提供等の情報提供

業界・課題毎の事業化に資する情報をリサーチし提供



### ユーザーヒアリングの実施

研究開発中の技術・製品・サービスについて、ユーザーインタビュー支援を実施



### 事業会社/自治体との共創

事業会社/自治体とマッチング支援を実施し、スモールな実証/研究開発・購買・調達の促進を目指す



### 未来を作る技術の広報

事業成果をSBIRポータルサイトに掲載



### 人材紹介会社とのマッチング

人材紹介を行う事業者への紹介を実施  
※(注)人材紹介手数料の自己負担有り



## ➤ 伴走支援の取り組み（流れの一例）



**i** 事業者ごとの技術領域や進捗状況に応じて、適切なチャネル形成など「フレキシブルなご支援」を提供いたします

## ➤ 採択事業者様の声



包括的支援

2022年度採択

私たちに足りないピースを見つけ、それらを繋いで頂きました。

資金面はもちろん、組織的なつながりや、障がい者とのつながりなど、すべての面でサポートして頂きました。

自社の技術で研究開発課題が合致していると感じたら、ぜひ応募されることをお勧めします。



福祉・介護テック分野  
採択事業者 A社様



伴走支援

2021年度採択

NEDO担当者とともに二人三脚で事業開発を進められる素晴らしい取り組みです。

進捗確認の際に、営業ターゲットに対するコメントや連携先企業の紹介などもありました。

単なる資金提供にとどまらない深い支援が得られます。

是非、応募してみてください！



環境・エネルギー分野  
採択事業者 B社様



社会実装

2021年度採択

研究開発から事業化に向けた検証まで幅広くサポートしてくれるプログラム。

応用性があり強い要素技術を研究開発できました。

社会実装を目指す粘り強さと情熱をもって応募していただければ、きっと素晴らしい成果にたどりつくと思います。



AI・IoT分野  
採択事業者 C社様

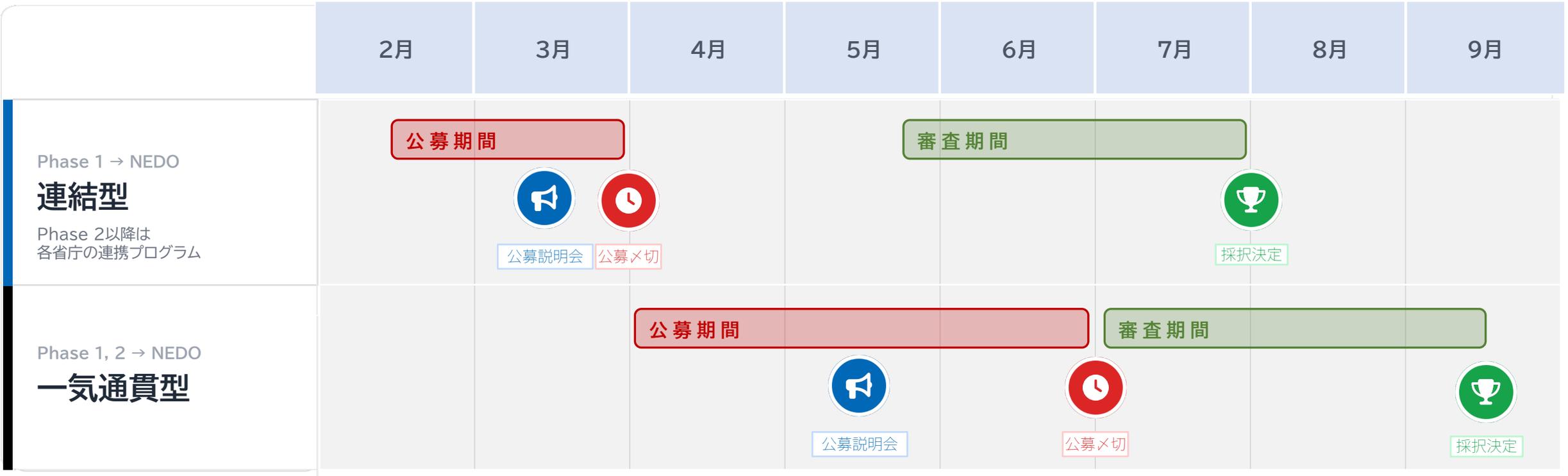
# 2026年度 公募情報

---

# ■ NEDO SBIR | 【重要】公募スケジュール(想定日程)

## ➤ 2025年度の実績を基にした想定スケジュール

公募期間
審査期間
● 重要イベント



[🗨️ 事前相談はこちら](#)

**i** 公募×切までの期間で「適合性確認」と「事前相談」を実施しますので、積極的にご活用ください



区分	No	ニーズ元	フェーズ1	フェーズ2	分野タグ	研究開発課題
連結型	1	総務省	JST NEDO	総務省	#通信	Beyond 5Gの実現、同技術を活用したサービスの社会実装・市場展開を見据えた研究開発
	2	厚労省	JST NEDO	厚労省	#福祉	障害者の自立や社会参加を促進する汎用的な支援機器の開発
	3	農水省	NEDO	農水省	#食品	中小食品工場向け生産性向上に資するスマート化技術の開発
	4	農水省	JST	農水省	#林業	林業のスマート化、木質資源の高付加価値化にし知る新技術の研究開発
	5	国交省	JST NEDO	国交省	#海事	海事分野のDX推進、生産性向上、労働負担軽減、安全・安心の確保等に資する研究開発
	6	国交省	JST NEDO	国交省	#海事	GX推進・脱炭素をはじめとした海事分野の環境課題の解決に資する研究開発
	7	環境省	JST NEDO	環境省	#環境	AI×資源循環DXによる廃棄物処理技術の開発
	8	環境省	JST NEDO	環境省	#環境	ブルーカーボンの吸収源対策に資する技術の開発
	9	環境省	NEDO	環境省	#環境 #宇宙	衛星観測データを活用した環境課題解決に資する技術の開発
	10	環境省	NEDO	環境省	#環境	気候変動適応に資する早期警戒システム技術の開発
	11	警察庁 消防庁	JST NEDO	NEDO	#防災	地中の埋設物や要救助者の探索に資する次世代防災・救助支援技術の開発
	12	消防庁	JST NEDO	NEDO	#防災	次世代消化技術の研究開発

## ➤ 採択に向けてのポイント



### 組織・実績

#### ✓ 原則 (Target)

設立15年以内の  
**革新的な研究開発**を行う  
スタートアップ等



#### i 実績・実態 (Reality)

設立15年以上の**中小企業**も  
多数の採択実績があります。  
年数よりも革新性が重視されます。



### 技術力

#### ✓ 原則 (Target)

高度な  
**技術的能力**を  
有していること



#### ? 評価ポイント (Check)

その技術は、既存の課題を  
**ブレイクスルー(飛躍的解決)**  
するものかどうか問われます。



### 管理体制

#### ✓ 原則 (Target)

的確な  
管理体制及び  
処理能力を有すること

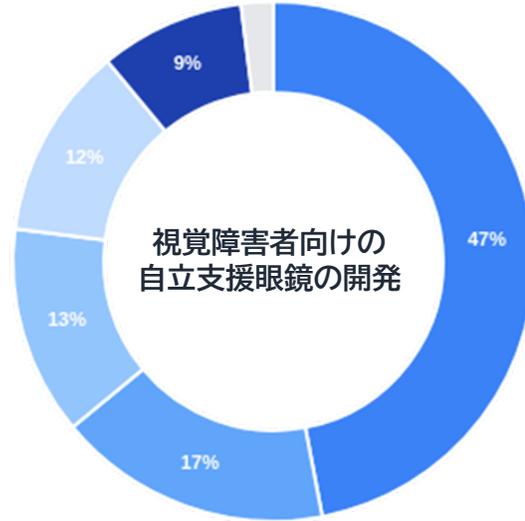


#### ! 要件 (Requirement)

公的資金である補助金を  
**適切に管理・執行**できるか  
経理体制等の整備が問われます。

## ➤ 補助金使用例

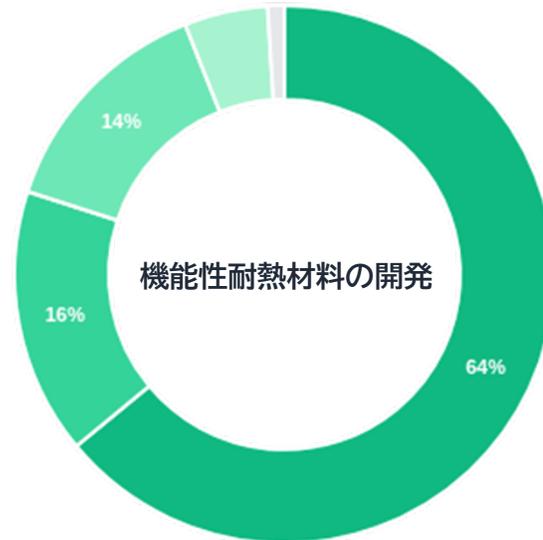
### Case 1【フェーズ1】



予算総額  
**1,500万円**

● 人件費	700万円	(47%)
● 外注費	250万円	(17%)
● 研究開発関連費	200万円	(13%)
● 設備・試作費	180万円	(12%)
● 間接経費	136万円	(9%)
● その他	34万円	(2%)

### Case 2【フェーズ2】



予算総額  
**7,000万円**

● 設備・試作費	4,500万円	(64%)
● 外注費	1,100万円	(16%)
● 人件費	1,000万円	(14%)
● 研究開発関連費	350万円	(5%)
● その他	50万円	(1%)

研究開発課題を検討するために、技術シーズやソリューションに関する情報を募集しています

## RFIの目的

国の調達ニーズや政策課題解決に貢献する研究開発課題を検討するため

## 募集内容と対象者

募集内容: 技術シーズや開発中のソリューションに関する情報  
対象者: 研究者、研究機関、スタートアップ、中小企業、業界団体等

## 情報提供のメリット

情報提供いただいた技術シーズ等を参考に研究開発課題が検討されるので、SBIR制度を利用しやすくなります

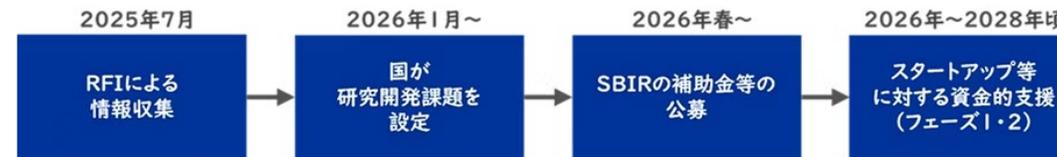
## 実施時期と提出方法(※現在も募集中)

<参考> 令和8年度分のSBIR制度に係るRFI

募集期間: 令和7年7月1日~令和7年8月5日正午

提出方法: 指定フォームへの入力

URL:



RFI実施後のスケジュールイメージ

# スタートアップ支援施策

---

- NEP開拓コース/ 躍進コース

	NEP (NEDO Entrepreneurs Program)		国際共同研究	SBIR (Small / Startup Business Innovation Research)	
	開拓コース	躍進コース		フェーズ1	フェーズ2
補助額	300万円 迄	3,000万円 以内	1億円 以内	一気通貫型 2,000万円 以内 連結型 1,500万円 以内	一気通貫型 1億円 以内 連結型 5,000万円 以内
期間	12か月 程度	12か月 以内	原則 2-3年	原則 1年 以内	原則 2年 以内
補助率	1/1	1/1 or 3/4	2/3 以内	1/1	2/3
対象者	起業前の個人	起業後の法人	日本国内に登録される未上場の中小企業		
目安段階	Pre-Seed		Seed		
支援概要 & 特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業家研修</li> <li>アイデアの実現可能性調査</li> <li>伴走支援者、カタライザによるサポート</li> <li>潜在顧客との面談アレンジ、外部人材の紹介など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスモデルブラッシュアップ</li> <li>NEP事業の経理支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象国・事業者との共同研究を支援</li> <li>NEDOは対象国の公的支援機関と連携し、共同研究開発をサポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府機関があらかじめ設定する課題の解決に資する技術についてPoC及びF/Sの実施</li> <li>内閣府を司令塔に公共調達や市場での展開を促進する事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェーズ1の検証結果を踏まえた、実用化研究開発</li> <li>フェーズ2からの応募も可能</li> <li>内閣府を司令塔に公共調達や市場での展開を促進する事業</li> </ul>

## 支援のポイント

自由度の高い活動費の支給

経験豊富な統括支援者SVrと  
伴走支援者ARによる手厚い伴走支援

若手の方を歓迎  
(40歳未満の方優遇)

## 活動イメージ

- ✓ 起業家候補人材FRはNEDOへ毎月活動報告を行うと共に、月額25万円を使用して活動。
- ✓ 技術シーズを活用したビジネスアイデアの実現可能性調査を、経験豊富な伴走支援者（AR）のサポートを受けながら実施。

## 採択までの流れ

2月～3月上旬頃

3月中旬～下旬頃

3月下旬頃

書面審査

面談審査

採択決定



起業家候補人材

**FR (Front - Runner)**

活動内容：技術シーズの活用検討、試作品開発、顧客理解・ビジネスモデル作成 等

相談

サポート  
メンタリング等



**AR (Accompany - Runner)**

一例 ・ 知財コンサル  
・ 理学博士号保持者  
・ VC出身者 等  
業界を牽引する実績を有する伴走支援者



統括支援者 SVr



技術カタライザー  
専門カタライザー

	NEP (NEDO Entrepreneurs Program)		国際共同研究	SBIR (Small / Startup Business Innovation Research)	
	開拓コース	躍進コース		フェーズ1	フェーズ2
補助額	300万円 迄	3,000万円 以内	1億円 以内	一気通貫型 2,000万円 以内 連結型 1,500万円 以内	一気通貫型 1億円 以内 連結型 5,000万円 以内
期間	12か月 程度	12か月 以内	原則 2-3年	原則 1年 以内	原則 2年 以内
補助率	1/1	1/1 or 3/4	2/3 以内	1/1	2/3
対象者	起業前の個人	起業後の法人	日本国内に登録される未上場の中小企業		
目安段階	Pre-Seed		Seed		
支援概要 & 特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業家研修</li> <li>アイデアの実現可能性調査</li> <li>伴走支援者、カタライザによるサポート</li> <li>潜在顧客との面談アレンジ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスモデルブラッシュアップ</li> <li>NEP事業の経理支援</li> <li>外部人材の紹介など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象国・事業者との共同研究を支援</li> <li>NEDOは対象国の公的支援機関と連携し、共同研究開発をサポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府機関があらかじめ設定する課題の解決に資する技術についてPoC及びF/Sの実施</li> <li>内閣府を司令塔に公共調達や市場での展開を促進する事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェーズ1の検証結果を踏まえた、実用化研究開発</li> <li>フェーズ2からの応募も可能</li> <li>内閣府を司令塔に公共調達や市場での展開を促進する事業</li> </ul>

## 活動イメージ

- ✓ 事業者は製品・サービスの試作品開発や、顧客候補のフィードバック等によるビジネスモデルのブラッシュアップといった事業化促進の活動を事業カタライザーのサポートを受けながら実施。



### 事業者

実施内容：ビジネスモデルのブラッシュアップ、試作品開発、実証研究 等

相談

サポート  
メンタリング等



### 事業カタライザー

一例 ・ 弁理士  
・ 理学博士号保持者  
・ VC出身者、キャピタリスト 等  
業界を牽引する実績を有する伴走支援者



統括支援者 SVr



技術カタライザー  
専門カタライザー

## 採択までの流れ

5～6月上旬頃

6月～7月

7月上旬～8月中頃

書面審査

面談審査

躍進3000・  
躍進カーブBのみ

採択決定

## 応募について

### 応募書類

- ・ 提案書
- ・ 技術シーズの原理確認や市場でのニーズ確認 (PoC) の内容や計画・体制、企業化計画、他
- ・ コースにより  
「出資関心確認書」や「支援対象証明書」

### 審査基準

- ・ 本事業の趣旨との整合
- ・ 人物評価
- ・ 技術評価
- ・ 事業性評価
- ・ 資金調達に関する評価

# スタートアップ支援施策

---

- DTSU/GX事業

	DTSU (Deep-Tech Startups Support Program)			UPP (Unicorn Promotion Program)	
	STSフェーズ Seed-stage Technology-based Startups	PCAフェーズ Product Commercialization Alliance	DMPフェーズ Demonstration development for Mass Production	事業開発	
補助額	最大 <b>5億円</b>	最大 <b>10億円</b>	最大 <b>25億円</b>	UPP 最大 <b>30億円</b> 以内	GX_UPP 最大 <b>50億円</b> 以内
	SG審査通過で最長6年、上限30億円				
期間	各フェーズ <b>1.5-2年</b> 程度 (同一フェーズ内で最長4年)			<b>3年</b> 以内	<b>4年</b> 以内
補助率	2/3 以内	2/3 以内	2/3 or 1/2 以内	1/2 or 1/3 以内	1/2 以内
対象者	日本国内に登録される未上場の中小企業 (みなし大企業のぞく、設立から一定以内要件等あり)				
目安段階	Seed		Early	Middle ~	
支援概要 & 特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>要素技術の研究開発</li> <li>試作品の開発</li> <li>事業化可能性調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期の生産技術開発</li> <li>主要市場獲得に向けた可能性調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商用化に向けた量産技術確立、実証</li> <li>サンプル出荷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前のRFIによって設定された領域での支援</li> <li>商用の量産プラントの建設、他社との事業連携、量産技術の改良</li> </ul>	

## 主な要件

詳細	DTSU STS	DTSU PCA	DTSU DMP	GX STS	GX PCA	GX DMP
中小企業基本法等に定める中小企業 <small>みなし大企業等を除く</small>	●	●	●	●	●	●
設立からX年以内 <small>例外有</small>	10年	10年	15年	10年	10年	15年
VC・CVC等が株主構成に加わっていること <small>採択決定日以降のNEDOが指定する日まで</small>	●	●	●	●	●	●
GXに係る取り組み申告書の提出が必要	-	-	-	●	●	●
<b>資金調達要件の有無</b> 所定の期間内に1社以上の以下の法人から補助対象費用の1/3以上の出資・融資が得られること <対象法人> STS：VC等、CVC、事業会社からの出資（VC等またはCVC必須） PCA：VC等、CVC、事業会社からの出資、金融機関からの融資（融資のみはNG）	●	●	原則必須ではないが例外有			
連携先との間で取り交わした 「量産化実証、共同研究、調達、販路開拓等に関する覚書等」の提出	-	-	●	-	-	●

## 支援イメージ



# スタートアップ支援施策

---

- UPP/GX\_UPP事業

	DTSU (Deep-Tech Startups Support Program)			UPP (Unicorn Promotion Program)	
	STSフェーズ Seed-stage Technology-based Startups	PCAフェーズ Product Commercialization Alliance	DMPフェーズ Demonstration development for Mass Production	事業開発	
補助額	最大 5億円	最大 10億円	最大 25億円	UPP 最大 30億円 以内	GX_UPP 最大 50億円 以内
	SG審査通過で最長6年、上限30億円				
期間	各フェーズ 1.5-2年 程度 (同一フェーズ内で最長4年)			3年 以内	4年 以内
補助率	2/3 以内	2/3 以内	2/3 or 1/2 以内	1/2 or 1/3 以内	1/2 以内
対象者	日本国内に登録される未上場の中小企業 (みなし大企業のぞく、設立から一定以内要件等あり)				
目安段階	Seed		Early	Middle ~	
支援概要 & 特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>要素技術の研究開発</li> <li>試作品の開発</li> <li>事業化可能性調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期の生産技術開発</li> <li>主要市場獲得に向けた可能性調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商用化に向けた量産技術確立、実証</li> <li>サンプル出荷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前のRFIによって設定された領域での支援</li> <li>商用の量産プラントの建設、他社との事業連携、量産技術の改良</li> </ul>	

## 公募スケジュール



## 主な要件

詳細	UPP	GX_UPP
中小企業基本法等に定める中小企業 <small>みなし大企業等を除く</small>	●	●
設立から20年以内	●	●
事業の総額（補助事業者負担分を含む）が10億円以上の提案	●	●
売上高研究開発費割合が、5%以上の企業	●	●
採択決定日以降のNEDOが指定する日（別途資料参照）までにVC等またはCVC、これらに類する者が株主構成に加わっていること	●	●
補助事業の実施を通じて実施する予定のCO2排出削減のための取組が記載された「GXに係る取組申告書」を提出すること	-	●

# スタートアップ支援施策

---

- その他スタートアップ支援施策

## ➤ NEDOデスク

全国の経済産業局とNEDOが連携し、技術開発に取り組む企業等からの相談に応じてNEDOの支援策を説明するほか、地域における行事やイベントでNEDOの活動を紹介しています。

### 近畿NEDOデスク

近畿経済産業局 地域連携推進課  
E-mail : [kansai-nedodesk@nedo.go.jp](mailto:kansai-nedodesk@nedo.go.jp)

### 四国NEDOデスク

四国経済産業局 新規事業推進課  
E-mail : [exl-nedo-shikoku@meti.go.jp](mailto:exl-nedo-shikoku@meti.go.jp)  
Tel : 087-811-8517

### 中国NEDOデスク

中国経済産業局 イノベーション推進課  
E-mail : [bzl-cgk-inovation@meti.go.jp](mailto:bzl-cgk-inovation@meti.go.jp)  
Tel : 082-224-5680

### 九州・沖縄NEDOデスク

九州経済産業局 産業技術革新課  
Tel : 092-482-5465  
内閣府沖縄総合事務局 地域経済課  
E-mail : [bzl-oki-gijutsu@meti.go.jp](mailto:bzl-oki-gijutsu@meti.go.jp)  
Tel : 098-866-1730

### 北海道NEDOデスク

北海道経済産業局 地域経済課  
E-mail : [bzl-hokkaido-chiikikeizai@meti.go.jp](mailto:bzl-hokkaido-chiikikeizai@meti.go.jp)

### 東北NEDOデスク

東北経済産業局 地域経済課 Tel : 022-221-4876  
相談依頼 <https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/sangyokyosoryoku/topics/250314.html>

### 関東NEDOデスク

関東経済産業局 産業技術革新課 総括班  
E-mail : [bzl-s-kanto-kakushin@meti.go.jp](mailto:bzl-s-kanto-kakushin@meti.go.jp)  
Web : [https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/innov/kanto\\_nedo\\_desk.html](https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/innov/kanto_nedo_desk.html)  
Tel : 048-600-0236

### 中部NEDOデスク

中部経済産業局 イノベーション推進課  
E-mail : [bzl-chubu-nedodesk@meti.go.jp](mailto:bzl-chubu-nedodesk@meti.go.jp)  
Tel : 052-951-2774

## ▶ プライベートピッチ

### ● 大手企業等の開催会場へ事業者が訪問しプレゼンを実施

従来のピッチイベント(オープン形式:1対多数)は、登壇者(NEDOスタートアップ)の認知度向上、業種/分野を超えたマッチングにおける効果はあるが、その場での具体的な質疑応答が難しいことから・・・

2017年度より**大手企業1者(JOIC会員限定)**のニーズに応えるスタイル

『**NEDOプライベートピッチ**』(クローズド形式: **1対1**)を開始。

※NEDOプライベートピッチ(公式サイト) : [https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2\\_100112.html](https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100112.html)

連携事例の創出以外にもNEDOスタートアップのターゲットの絞り込みや大手企業等のオープンイノベーションに対するマインドセット等、副次的効果も期待できる。

#### 従来のピッチ



- ・オープンスタイル
- ・聴衆のバックボーン・ニーズは様々
- ・分野を超えたマッチング

#### NEDOプライベートピッチ

Web会議併用可



- ・大手企業等1社にて**1対1**のピッチスタイル
- ・特定のニーズに即したマッチング
- ・**Win-Win**の関係構築

#### ピッチ登壇者決定のプロセス

1. NEDOスタートアップ一覧よりニーズに見合う事業者を抽出(必要に応じてNEDO事業内容共有)
2. NEDOスタートアップの意向確認し決定

## ● 参考スケジュール

対象 日程	当日-1週間程度		3週間-6か月	2週間-1か月 ※選択数により異なる	NPP開催日	NPP終了後 1週間以内
JOIC 会員企業	説明会実施	実施の意向確認	リストから事業者選出	日程・参加者社内調整 会場&控室確保	会場/控室提供 社内参加者招集	登壇者へ速やかに連絡
NEDO		実施意向確認後、 リストを送付		登壇者へ意向確認 発表資料の依頼/回収	会場運営 司会進行	アンケート 実施 ※半年-1年後
スタートアップ				出席可否 回答	発表資料 作成/提	会場にて発表 /質疑応答

# ■ NEDO SBIR | その他スタートアップ支援施策

## ➤ Immersion Program

<https://www.nedosvo.org/sv-immersion-program>

### 1 国内ブートキャンプ



ワークショップ  
(4日間)

### 2 オンライン講座



事前準備

### 3 現地研修



メンタリング・レクチャー・ピッチ  
(約1週間)

#### プログラム内容

- 国内研修：約1週間、日本国内(首都圏)にて米国展開のための基礎知識を習得しビジネスモデルを確立。コミュニケーション手法を学びアメリカの投資家やビジネスパートナー候補とのアポ取りを行う。イベントに向けて準備をし、国内のピッチイベントに登壇する
- オンライン研修：約3週間、オンライン会議ツールを活用し、講義の受講、課題提出、one-on-one課題フィードバックやメンタリングセッションを実施
- シリコンバレー研修：約1週間、講義の受講、企業訪問、投資家との面談、ビジネスエキスパートによるメンタリングを行ったあと、現地投資家、大企業、スタートアップなどの聴衆前でピッチを実施

2024年度スタートアップ海外展開支援  
参加スタートアップ、活動報告と紹介動画はこちら





各事業のポータルサイトはこちらから



NEP



SBIR



DTSU

政府系支援策はこちらから



StarT!Ps  
from NEDO

イベントなどの最新情報ははこちらから



facebook

